

愛好セラピー医療

で、正しく使われるために！

アロマの未来を

変えてゆく

Special 対談

工藤千秋さん・林真一郎さんに訊く



今、日本でのアロマの地位を向上するための新たな取り組みが始まっています。そこで、その流れを作った一般社団法人日本アロマセラピー学会のおふたりに、日本のアロマの未来とその可能性についてお話しいただきました。アロマ業界、セラピスト自身は今後どのような意識を持ち、何ができるのでしょうか。私たちに必要な課題を知り、一緒に考えてみましょう。

取材・文◎近藤圭子



日本の植物療法はこれまでいかに「暗い世界」だったか

—2024年11月、日本アロマセラピー学会学術総会と日本ハーブ療法研究会学術講演会が合同で行われました。大会テーマとして掲げられたのが、「芳香・植物療法の夜明け」臨床医学・生命科学における植物の力です。このテーマに込めた思いを教えてください。

薬剤師・グリーンフラスコ代表

林真一郎さん

SHINICHIRO HAYASHI

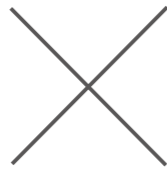


グリーンフラスコ代表。薬剤師。臨床検査技師。東邦大学薬学部客員講師。日本赤十字看護大学大学院非常勤講師。日本アロマセラピー学会理事。日本メディカルハーブ協会理事長。日本ホリスティック医学協会理事。著書に『臨床で活かせるアロマ＆ハーブ療法』（南山堂）ほか多数。

CHIAKI KUDO



英国パーミンガム大学、労働福祉事業団東京労災病院脳神経外科などで脳神経外科を学ぶ。東京労災病院脳神経外科副部長を経て、2001年に東京都大田区に「くどうちあき脳神経外科クリニック」を開設。脳神経外科のほか、認知症治療と心のケアなどが専門。日本アロマセラピー学会理事長。



ください。

工藤千秋さん（以下、工藤） アロマセラピー（芳香療法）の精油は、植物から抽出されます。ですが、植物には、精油ではない成分もあり、それらは、ハーブという形で活用されています。我々は、人類が誕生する以前からある植物の力を、全体的な形で享受しているのです。

日本アロマセラピー学会（JSA）では、「植物療法部会」を設けて、林真一郎先生に部長に就任していただきました。林先生には今回の大会長をお願いしており、「芳香・植物療法之夜明け」というテーマをご提案いただきました。

林真一郎さん（以下、林） アロマセラピーだけでなく、ハーブも一緒に実践していくことが大事ではないかと考えています。実際に欧米では、アロマセラピーとハーブ療法を融合させる流れがあります。日本のアロマセラピストさんの中にも、施術前や施術後にハーブティーを出す方が多くいらっしゃいます。私もアロマとハーブの融合の一つと言えます。

アロマセラピー教育では、テキストの初めに精油瓶が載っていて、そこから説明が始まります。ですが、アロマセラピーを深め、さらに発展させていくためには、大元となる植物を知ることが欠かせないと考えています。

—「夜明け」と付けたのはどういった理由からでしょうか。

林 日本にアロマセラピーが初めて紹介されたのが、1985年です。それから40年が経過しました。近々、日本の医療の形が変わり、それに伴って補完代替療法も変化していくでしょう。アロマセラピーが第二段階に発展していく時期なのではないかという個人的な考えがあり、「夜明け」と付けました。

工藤 今回のテーマを初めて聞いたときピンと来たのは、いかにこれまで「暗い世界」だったかということでした。アロマセラピー、ハーブ療法に関わる団体が多々あって、それぞれの考え方が違います。それに、植物の良さは、本当の意味ではまだ、世の中に明るみになっていなかったのではないのでしょうか。本大会を機に、植物や精油、ハーブの良さを、広く明るみに出していくという意味で、「夜明け」と名付けられたのかなと思いました。

国も代替療法を認めている 必要なのはその「基盤作り」

—大会の中では、「日本アロマサミット2024」と題したシンポジウムがありました。アロマセラピーに関わる4つの団体（※）が登壇し、講演とパネルディスカッションが行われましたが、どういった経緯で実現に至ったのでしょうか。

工藤 私たちJSAの会員は医療従事者なのですが、会員が医療の中でアロマセラピーを提案しようにも、そもそも病院でアロマセラピーをやってもいいのか、精油代は誰が払うのか、施術者のファイヤーは誰が払うのかなど、あらゆる事が明確ではありません。

JSAではこれまで、「アロマを医療に取り入れる委員会」を設けて、厚生労働省の方をお招きした勉強会を行いました。私自身も厚生省を訪問してお話しするなどしてきたのですが、国は一つの団体の意見だけを聞いて行動することはできません。「それはJSAさんの考えですよ」「皆さんの業界でどう考えているのかを教えてください」ということなのです。

何人かの国会議員の方々にも相談したのですが、やはり、業界全体のまとまりを作ったほうが議員活動もしやすいと言います。そこで、日本でアロマセラピーを推進している団体にお声がけして、話し合いの場を設けたいと考え、アロマサミットの計画が動き出しました。

これから最低でも年に1度はアロマ業界の方々が集まり、さまざまなことを決めていけたら良いと考えています。まずは、そういう場を設けられたこと自体が、今回の成果でした。

林 医療業界でも、医師会や薬剤師会、歯科医師会などがあります。社会で何かをやっていくこうとするとときに、同業

※アロマセラピーに関わる4つの団体として、国際プロフェッショナルアロマセラピスト連盟、日本アロマ環境協会、日本アロマコーディネーター協会、日本アロマセラピー学会が登壇した(50音順)。